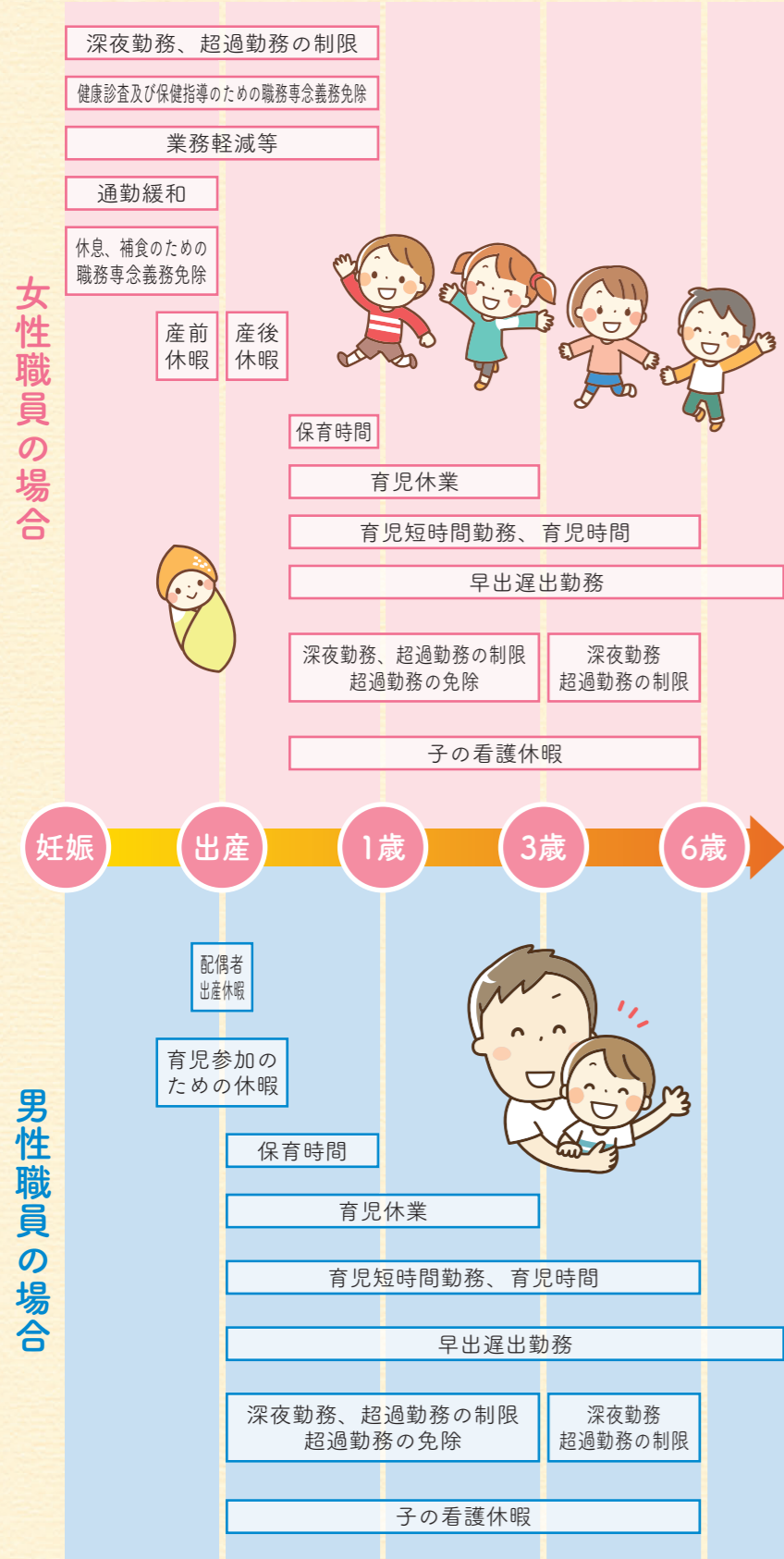


ワーク・ライフ・バランス

入省後は、国土交通省共済組合に加入することとなり、本人や扶養家族が病気になった時、医療費の一部を支払うだけで治療が受けられます。また、病気、出産時等の際に支援制度等を受けられるなど、職員が安心かつ快適に職務に専念できるよう福利厚生の実を充実を図っており長く働きやすい環境が整っています。

育児に関する両立支援制度の利用可能期間



ワーク・ライフ・バランス (仕事と家庭生活の両立支援制度)

3歳未満の子供を養育する場合 育児休業 配偶者の就業等の状況にかかわらず取得可能	出産する場合 産前・産後休暇 産前6週間及び産後8週間(多胎妊娠の場合は産前14週間)
生後1年未満の子を養育する場合 保育時間 1日2回それぞれ30分以内勤務しないことが可能	小学校就学前の子を養育する場合 育児短時間勤務 勤務時間を1日3時間55分(週19時間35分)等に短縮
小学校就学前の子を養育する場合 育児時間 1日の勤務時間の一部(2時間まで)を勤務しないことが可能	小学校就学前の子を看護する場合 子の看護休暇 年5日(対象となる子が2人以上の場合は年10日)
小学校就学前の子を養育、放課後児童クラブ等に通う小学生の子の出迎え、又は父母等を介護する場合 早出遅出勤務 始業、終業時間を繰り上げ又は繰り下げて勤務	小学校就学前の子を養育、又は父母等を介護する場合 深夜勤務・超過勤務制限 深夜勤務は免除 超過勤務は月24時間 年150時間以内に制限
3歳未満の子を養育する場合 超過勤務の免除	配偶者、父母、子、配偶者の父母等を介護する場合 介護休暇 6ヶ月の期間内で必要と認められる期間
配偶者、父母、子、配偶者の父母等を介護など必要な世話をする場合 短期介護休暇 年5日(対象となる要介護者が2人以上の場合は年10日)	外国で勤務などをする配偶者と外国において生活を共にする場合 配偶者同行休業 3年を超えない範囲内
妻の出産に伴う入退院の付き添い等をする場合 配偶者出産休暇 2日の範囲内の期間	妻の産前産後期間中に、未就学児を養育する場合 育児参加のための休暇 5日の範囲内の期間

わたしたちの「四国地整で働く」

実際に使ったことのある制度をもとに、四国地方整備局で働く女性のみなさんにインタビューを行いました。



利用したことのある制度
特別休暇(妊娠中の健康診断など)、産前産後休暇、育児休業、看護休暇

Q. 四国地方整備局での女性にとって働きやすいところとは?
A. 制度が整っていて、男性も育休をとることが珍しくないので、周囲の理解があるところです。特に妊娠中などは残業や出張などにも配慮いただき、とても助かりました。復帰してからも、家庭の都合で急にお休みしなければならなくなったときも、サポートしていただいています。



利用したことのある制度
育児休業、育児時間勤務、子の看護休暇

Q. 四国地方整備局での仕事と家庭の両立とは?
A. 私は、1人目の育児休業中に2人目を出産したため、約4年育児休業を取得しました。仕事復帰後は、育児時間勤務を申請し、夕方は早めに仕事を退行して保育園のお迎えを行っています。育児時間勤務を行うことで、子供と接する時間が確保でき、帰宅後は勉強を教えたり、寝る前には絵本を読んだりしています。また、子供が体調を崩すことが多く、病院に連れていく機会が多いですが、子の看護休暇等を使用して対応しています。仕事をしながら家事、育児をするのはとても大変ではありますが、いろいろな制度を活用することができますし、職場の人たちのサポートもありますので、仕事と家庭の両立しやすい環境になっています。



利用したことのある制度
産前産後休暇、育児休業、育児短時間勤務、育児時間

Q. 仕事を続けるうえで困難だったこと、両立で大変だったことは?
A. 私は両親が近くに住んでいてよく助けてもらっていることもあり、育児との両立で大変だと感じたことは少ないですが、仕事や家事、子供たちのお世話や学校行事・習い事など、やる事が多くて1日があっという間です。ですがフレックス制度などを利用して、家族の都合に合わせた働き方をしています。



利用したことのある制度
保育時間

Q. 役職についたことで両立が大変だったこと・両立するために工夫したことは?
A. 役職についたからということで、両立への変化は思いつきませんね。逆に、自分の方針で進めることができるからメリットかも。昇進する前までは、仕事が増えて責任が増えて・イメージし、休暇をとると業者、他機関への指示(決定)事項の伝達が遅延する〜って思っていました。でも、結局は組織で仕事しているので、みんな助けてくれます!感謝の気持ちを忘れず、自分ができる範囲のことを実施することが大事かもしれません。工夫としては、仕事の内容もスケジュールも、職場や家族と共有することです。共有することで組織としても個人としても働きやすい環境づくりができています^^